

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム なごみ作成日: 平成 24年 03月 14日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		地域に密着した事業運営計画	運営理念に掲げている「地域の一員として、自分らしく生き生きと尊厳のある生活を支援していく」ために、積極的に近隣住民との交流を図っていく。	運営推進会議だけの地域の繋がりだけではなく、事業所から積極的に行事や勉強会などの参加を呼びかけ、気軽に訪問できる地域に密着した環境を整備していく。	12ヶ月
2	42	食事を楽しむことのできる支援	利用者の残存能力に応じた調理の手伝いや、配膳、下膳、食器拭き等、利用者一人ひとりのその日の状態を把握して、生活リハビリの一環として手伝ってもらう。	食事は利用者と職員が、会話や笑顔で美味しく食べていただくために、利用者のテーブルの中に職員が入り、見守りをしながら楽しい時間の中で食欲増進に繋げていく。	12ヶ月
3		職員の介護力向上と意識高揚を図る	外部、内部の研修会に職員が交代で参加し、その知識と情報を職員間で共有し、職員の介護の技術力を高めていく。	職員会議や研修会を定期的で開催し、代表を中心に職員一人ひとりが意見を出し合い、出された意見に対し尊重し、利用者の自立支援に向けた介護技術を身に付けていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。